



角 笛 会 会 報

ホームページ: http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

発行所

日本大学生物資源科学部
獣医学科角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野 1 8 6 6

0 4 6 6 - 8 4 - 3 6 2 4



巻頭のご挨拶

角笛会会長 中 川 秀 樹 (昭和40年卒)

会館 (東京・市ヶ谷) で去る7月1日に開催されました。

学会では、昨年3月11日に発生した東日本大震災でボランティア活動をされた荻原輝紀氏 (大町ペットクリニック) に「震災後の獣医師の対応と今後の課題」を、北中卓氏 (ロイヤルカナンジャパン) には「被災地へのペットフード送付と現地での活動」と題して基調講演がなされました。今後も起こることか危惧される大震災における対応と救護に貴重な経験として生かされることと思います。現在も多数の校友が被災地で救援、ボランティア活動に尽力されていることに敬意を表します。1年半を経過した現在も復興が遅々として進まない状況ですが、1日も早く被災者の方々が日常を取り戻すことを願うばかりです。

同日開催されました総会に於いて役員改選が行われ、副会長には津曲茂久教授と鳥海弘氏 (神奈川県獣医師会会長) が新たに就任され、私と蔵内勇夫氏 (日本獣医師会副会長)、事務局長の渋谷久准教授が留任することが承認されました。引き続きまして任期2年間の務めさせて頂くことになりました。今後も引き続きまして変わらぬ御支援と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

先進国を始めとして多くの国において獣医学は学部教育が行われており、我が国においても日進月歩の獣医学教育を十分に推し進めるために教育課程をグローバルスタンダードに置くことが重要とされ、国立大学の再編整備が検討されて久しい状況であります。教育内容につきましてもコアカリキュラムが定められ、全国の大学が一致して優秀な人材を教育するための環境整備が整えつつあります。獣医学教育が6年制に移行して20年を経過致しますが、この間、私立4大学では体制整備を図り、既に学部教育に移行しております。

今日まで母校だけが学科教育を余儀なくされてまいりましたが、日本大学は獣医学部設立を本年度正式に決定をすると共にその体制整備に着手いたしました。学部設立に向けて角笛会としても一層の支援と協力を推し進めていかなければなりません。今後とも会員各位のお力添えをお願い申し上げます。

本年度も事業計画通り、準会員である獣医学科在校生支援として、新入生歓迎会、スポーツフェスタ助成、国家試験会場でのサポート、卒業生には成績優秀者表彰、卒業記念品の贈呈を行う予定であります。校友各位におかれましては、引き続きまして母校の発展と角笛会の隆盛に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



ご 挨 拶

獣医学科主任 野 上 貞 雄 (昭和49年卒)

会長の中川秀樹先生を始め、角笛会の先生方には日頃より、獣医学科の学生教育、研究活動に多くのご支援ご協力を賜り誠に有難く、厚くお礼を申し上げます。

昨年は震災の関係で、学内行事にも中止、延期などの影響がございましたが、本年は通常に戻り、まず当学科は本年3月に137名の卒業生を送り出しました。4月には135 (男65、女70) 名の新入生を迎え、2年次145 (男61、女84) 名、3年次141 (男65、女76) 名、4年次138 (男69、女69) 名、5年次143 (男70、女73) 名、6年次145 (男80、女65) 名、計847名の学生が現在在籍しております。さらに、大野真美子助手 (獣医臨床繁殖学研究室)、矢部由希乃実習助手 (家畜病院) の2名の先生方が4月に着任し、教育の充実、発展が大いに期待されるところであります。

生物資源科学部関係の大きな動きといたしまして、いよいよ60周年記念行事関係の工事が着工されました。かつては図書館であり、その後学生ホールとして使われておりました2階建の建物が10月に解体され、更地になり、現在基礎工事が行われております。

獣医学科関係の大きな動きといたしまして、獣医学科の学部昇格の話題がございます。本年4月26日には、本館2階大会議室にて、河野英一学部長から獣医学科教員に対して、日本大学本部において現在の生物資源科学部獣医

学科を獣医学部へ組織改編する方針があることおよびその経緯についてご説明がありました。

獣医学教育を取り巻く環境が急速に変化していることを昨年ご紹介いたしましたが、昨年公表の獣医学教育のモデル・コア・カリキュラムに連動して、関東地区4大学（東京大学、日本獣医生命科学大学、麻布大学、日本大学）における文部科学省支援の連携教育プログラムなどがスタートしています。

終わりに、獣医学科全教員は、獣医学教育の益々の改善、充実を目指してまいりたいと考えております。角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

◆◆◆◆◆平成24年度角笛会総会・第50回日本大学獣医学会開催◆◆◆◆◆

事務局長 洪 谷 久



平成24年7月1日（日）、市ヶ谷の日本大学校門会館において平成24年度角笛会総会及び第50回日本大学獣医学会が開催され、日曜日にもかかわらず多くの会員が集まりました。日本大学獣医学会は第50回の記念大会でもあり、多数の研究発表と講演が行われ充実した内容でした。午前の一般講演では臨床および基礎・応用分野の2会場において臨床系からは10演題、基礎・応用系は6演題の研究発表があり、午後のシンポジウムでは小動物臨床分野において「高齢動物の疾患と対応」をテーマに、また産業動物・公衆衛生分野では「口蹄疫とその対応」と題してそれぞれ3人の専門家の講演がありました。



角笛会総会では田村幸生議長（昭和45年卒）の進行で審議が行われ、平成23年度の事業活動として東日本大震災獣医師動物救援募金や準会員への支援の報告および決算報告が承認されました。角笛会の発展に貢献した功労者として鈴木篤氏（秋田県）、重田雅彦氏（茨城県）、大谷静雄氏（愛知県）、松本光和氏（愛知県）の4名に賞状と記念品が授与されました。また日本大学動物病院の獣医臨床技術の向上と臨床獣医学研究の活性化を目的としたANMEC支援基金研究助成は、大学院生の山田宏美氏（研究課題：イヌにおける脱分化脂肪細胞移植による脊髄再生療法の検討）が授賞しました。本年度は角笛会役員更新の年にあたり平成24年から25年度の新役員として、会長に中川秀樹氏、副会長に鳥海弘氏、蔵内勇夫氏、津曲茂久氏が選出、承認されました。

総会後、校門会館4階にて開催された懇親会には学部校友会の内田俊太郎会長をはじめ他学科同僚校友会の来賓、角笛会校友、大学教員そして学部生（準会員）など111名が出席しました。茨城県支部の苦瀬義雄氏（昭和23年卒）の乾杯の音頭で開幕し、校友と準会員学生が懇親を深める盛会になりました。



【第50回日本大学獣医学会プログラム】

時 間	第1会場：3階	第2会場：4階
10：00～11：45	一般演題（口演） ・臨床分野 	一般演題（口演） ・基礎および応用分野 11：00～11：45 東日本震災ボランティア関連・基調講演 1．震災後の獣医師の対応と今後の課題（荻原輝紀先生） 2．被災地へのペットフード送付と現地での活動（北中 卓先生）
11：45～12：15	日本大学獣医学会総会	
13：00～14：30	小動物臨床分野シンポジウム テーマ：高齢動物の疾患と対応 1．高齢動物の麻酔のポイント整理（佐野忠士先生） 2．高齢動物の神経疾患」（北川勝人先生） 3．歯性病巣疾患（幅田 功先生）	産業動物・公衆衛生分野シンポジウム テーマ：口蹄疫とその対応 1．世界における口蹄疫の発生状況（深井克彦先生） 2．口蹄疫発生状況と対応（安藤忠弘先生） 3．ワクチン接種農家の事前目視に参加した経験から（大滝忠利先生）
14：30～15：30	特別講演 犬の先天性膝関節疾患の診断と治療（永岡勝好先生）	15：00～16：30 懇親会準備
15：30～16：30	角笛会総会	
16：30～18：00		
		懇親会（桜ホール）

角笛会同期会開催補助のお知らせ

平成24年度角笛会総会において同期会開催の補助が承認され、角笛会同期会あるいはクラス会の開催に際し、同期会名簿の提出をもって1万円の補助をすることになりました。この決定により、同期会が活発に開催され、かつ会員名簿の更新も期待されます。現時点で、補助金の申請が6件あり、多数の同窓会が平成24年度に開催されました。事務局ではクラス幹事に旧名簿の送付やホームページに同窓会開催の案内を掲示するなどの援助をしております。同期会を開催する際はお気軽に事務局へご連絡ください。

総会資料

平成23年度 一般会計収支決算報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部					(単位：円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 支部会費	1,300,000	1,280,000	20,000	1280人×1,000円	
2. 準会員費	2,500,000	2,562,000	△ 62,000	校友会本部	
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	
4. 雑収入	5,899	62,865	△ 56,966	利息等	
5. 前年度繰越額	824,101	824,101	0	平成22年度分	
収入合計 (A)	4,830,000	4,928,966	△ 98,966		

支出の部		(単位：円)			
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 経常費	1,820,000	1,241,127	578,873		
(1) 会合費	50,000	26,000	24,000	会議等	
(2) 交際費	300,000	161,575	138,425	支部総会祝い金・慶弔費等	
(3) 旅費交通費	920,000	555,500	364,500	支部総会旅費等	
(4) 通信運搬費	150,000	80,915	69,085	通信料・郵送料	
(5) 事務局運営費	400,000	417,137	△ 17,137	給与・消耗品等	
2. 会報費	250,000	189,000	61,000	会報27号（含葉送料）	
3. 名簿管理費	230,000	107,641	122,359	業務委託費等	
4. 準会員支援費	800,000	560,351	239,649	記念品代、国家試験・学内行事等支援	
5. 褒賞費	200,000	191,835	8,165	労務費	
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第49回日本大学獣医学会	
7. 補助費	130,000	130,000	0	第10回日本大学経済学系同窓会・校友会	
8. 組織拡充費	300,000	252,000	48,000	ホームページ管理等	
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿会計へ	
10. 特別会計Ⅱ	500,000	500,000	0	将来事業基金・ANMEC支援基金	
11. 特別会計Ⅲ	0	0	0	角笛会支援基金	
12. 予備費	400,000	320,838	79,162	東日本大震災被災医師動物救護募金等	
支出合計 (B)	4,830,000	3,692,792	1,137,208	三菱東京UFJ銀行	

平成23年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,236,174 円

平成23年度 懇親会費収支報告書

(単位：円)				
収入の部	科目			備 考
懇親会参加費		385,000	5,000円/76人、祝儀	
準会員参加費		115,000	準会員支援費より	
収入合計		500,000		
支出の部	科目			備 考
懇親会費		500,000		

平成24年度 一般会計予算(案)

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部					(単位:円)
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 支部会員費	1,300,000	1,300,000	0	1300名×会1,000	
2. 準会員費	2,500,000	2,500,000	0	校友会本部	
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	
4. 雑収入	826	5,899	△ 5,073	預金利息等	
5. 前年度繰越額	1,236,174	824,101	412,073		
収入合計	5,237,000	4,830,000	407,000		

支出の部		(単位：円)			
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 経常費	1,770,000	1,820,000	△ 50,000		
(1) 会合費	50,000	50,000	0	会議等	
(2) 交際費	300,000	300,000	0	支部総会等祝儀	
(3) 旅費交通費	920,000	920,000	0	支部総会等旅費	
(4) 通信運搬費	100,000	150,000	△ 50,000	通信	
(5) 事務局運営費	400,000	400,000	0	給与、ソフト等	
2. 会報費	250,000	250,000	0	会報28号	
3. 名簿管理費	230,000	230,000	0	業務委託等	
4. 準会員支援費	900,000	800,000	100,000	新入生、卒業生記念品、懇親会招待など	
5. 褒賞費	200,000	200,000	0	功労賞・角笛会会長賞・特別賞	
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第50回日本大学獣医学会	
7. 補助費	130,000	130,000	0	第11回日本大学経済学同窓会・校友会	
8. 組織拡充費	300,000	300,000	0	ホームページ管理等	
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿作成繰入金	
10. 特別会計Ⅱ	500,000	500,000	0	将来事業基金・ANMEC	
11. 特別会計Ⅲ	200,000	0	200,000	角笛会支援基金	
12. 予備費	557,000	400,000	157,000		
支出合計	5,237,000	4,830,000	407,000		

平成23年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部					(単位：円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	平成23年度分	
2. 雑収入	641	520	121	利息	
3. 前年度繰越額	3,249,359	3,249,359	0		
収入合計(A)	3,250,000	3,249,879	121		

支出の部				(単位：円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成積立金	3,250,000	0	3,250,000	
2. 雑支出	0	0	0	
支出合計(B)	3,250,000	0	3,250,000	

平成23年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,249,879 円

平成23年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部					(単位：円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 将来事業繰入金	200,000	200,000	0	平成23年度分	
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0		
3. 雑収入	4,747	617	4,130	利息	
4. 繰越額	2,845,253	2,845,253	0		
収入合計 (A)	3,350,000	3,345,870	4,130		

支出の部					(単位：円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 将来事業積立金	2,945,000	0	2,945,000	ANMEC支援基金	
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0		
3. 予備費	105,000	0	105,000		
支出合計 (B)	3,350,000	300,000	3,050,000		

平成23年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,045,870 円

平成23年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部					(単位：円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	
1. 角笛会支援基金	0	0	0	平成23年度分	
2. 雑収入	0	0	0		
3. 繰越額	1,000,000	1,000,000	0		
収入合計 (A)	1,000,000	1,000,000	0		

支出の部				(単位:円)
科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛会支援基金	1,000,000	0	1,000,000	
支出合計 (B)	1,000,000	0	1,000,000	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

平成23年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,000,000 円

平成24年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】(案)

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(平成24年度予算対前年度予算増減率)					(単位:円)
収入の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	0	一般会計より
2. 雑収入	121	641	△ 520	預金利息等	
3. 繰越額	3,249,879	3,249,359	520		
収入予算合計	3,250,000	3,250,000	0		

支出の部				(単位：円)	
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 名簿作成積立金	3,250,000	3,250,000	0		
2. 雑支出	0	0	0		
支出予算合計	3,250,000	3,250,000	0		

平成24年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】(案)

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部					(単位：円)
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 将来事業積立金	200,000	200,000	0	一般会計より	
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	一般会計より	
3. 雑収入	4,130	4,747	△ 617	預金利息等	
4. 繰越額	3,045,870	2,845,253	200,617		
収入予算合計	3,550,000	3,350,000	200,000		

支出の部				(単位：円)
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 将来事業積立金	3,145,000	2,945,000	200,000	次回式典及び記念誌作成のための積立
2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
3. 予備費	105,000	105,000	0	
支出合計	3,550,000	3,350,000	200,000	

平成24年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】(案)

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部				(単位：円)
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 角笛会支援基金	200,000	0	200,000	
2. 雑収入	0	0	0	
3. 繰越額	1,000,000	1,000,000	0	
収入予算合計	1,200,000	1,000,000	200,000	

支出の部				(単位:円)
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 角笛会支援基金	1,200,000	1,000,000	200,000	
支出合計	1,200,000	1,000,000	200,000	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

動物病院だより

平成24年度日本大学動物病院 (ANMEC) 便り

動物病院長 津曲 茂久

田中茂男前病院長から病院長を引き継いで早いもので2年が経過しました。就任当初から心掛けてきた課題は、河野英一学部長から要請された危機管理システムの構築でした。早速、従来から設置されている医療安全管理委員会の役割を事故発生後対応ではなく、事故発生予防にシフトしました。そのためにクレームレポート、インシデント・アクシデントレポートの書式を整備して、逐次報告された内容を精査した上で、全診療スタッフに周知しております。さらに、獣医療技術や学識以外のテーマについて外部から専門講師を呼んで、年5～6回の講習会を開催しております。一例として挙げると、獣医療におけるコミュニケーション、動物病院経営学、獣医訴訟例に学ぶ予防的コミュニケーション、院内感染症対策、電子カルテの活用法などです。この講習会には有給研修医だけでなく臨床教員も参加しております。何故なら、臨床教員も獣医学以外の専門的な知識を学ぶ機会は殆どないためです。



現在、獣医学教育改革運動が全国獣医科大学で進行しており、文科省も6年制教育である医学、歯学、薬学、獣医学の標準教育体系の構築を推進しております。現時点における目安として、平成28年に共用試験（コンピューターによる学説試験と教員による臨床実地試験）を実施して、合格者に獣医師仮免許を与え、動物病院における参加型臨床実習を義務付けることになっております。従って、これまで実施している見学型臨床実習を参加型臨床実習へ改変するために、ソフト面の変更として巡回診療科（現6診療科）を倍増したり、学生を直接指導する臨床教員や獣医師を増員する必要があります。ハード面の対応として、診察室の増数、小グループ学習室の設置、コンピューター学習室の設置、新しい診療機器の導入などを図ったり、また、現在の古い大動物臨床実習棟を農場内に新設する計画を速やかに進める必要があります。

獣医学6年制教育の発足当時に期待されていた“即戦力のある獣医師育成”が成功しなかった最大の理由は、臨床・応用分野の研究室や教員の補充が目的を達成するには不適切であったことにあります。例えば日大では4年制時代の非臨床と臨床の研究室の割合は3：1でしたが、6年制になっても2：1の割合です。しかも、国立大学においては今尚3：1の大学が存在します。従って、今後の獣医学教育改革運動の推進においてはこの基本的な現状認識の下、軌道修正を直ちに開始する必要があります。“即戦力のある獣医師育成”の現場は最終的には動物病院しかないわけですので、ソフト、ハードの両面でその実践現場に資源を集中するしかありません。今回の獣医学教育改革運動が最終的に成就することを、またこれが最後の試行になることを心より願っており、ご支援とご理解を賜りたいと存じます。

ANMECセミナー開催報告

ANMECセミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加ください。

平成23年度 ANMECセミナー開催（第182回～第187回）

第182回（H23.10.17開催）

教育講演；「犬子宮蓄膿症の内科的治療」

Dr. Mushtaq A. Memon（ワシントン州立大学）

コーディネーター：津曲茂久先生

（病院長 獣医臨床繁殖学研究室）

第183回（H23.11.14開催）

教育講演；「小動物にみられる皮膚の自己免疫疾患」

西藤公司先生（東京農工大学 農学研究科動物生命科学部門）

コーディネーター：坂井 学先生

（獣医内科学研究室）

第184回（H23.12.19開催）

教育講演；「PDA、私たちの治療戦略」

手島健次先生（獣医外科学研究室）

第185回（H24.1.16開催）

教育講演；「動物の歯科治療について」

幅田 功先生

（センターヴィル動物病院

日本大学動物病院非常勤講師）

第186回 (H24. 2. 20開催)

教育講演；「高次診療施設麻酔科における本当の役割とは」
佐野忠士先生 (総合臨床獣医学研究室)

第187回 (H24. 3. 19開催)

教育講演；「小動物の腹部外科における最近のトピックス」
関 真美子先生 (総合臨床獣医学研究室)
石垣久美子先生 (日本大学動物病院支援獣医師)

平成24年度 ANMECセミナー開催 (第188回～第192回)

第188回 (H24. 4. 16開催)

教育講演；「あなたは関節疾患をどこまで診断できますか？
～診断精度を上げるためのスキルアップ講座～」
枝村一弥先生 (獣医外科学研究室)

第189回 (H24. 5. 21開催)

教育講演；「下垂体の放射線治療2012」
高橋朋子先生 (獣医放射線学研究室)

第190回 (H24. 6. 11開催)

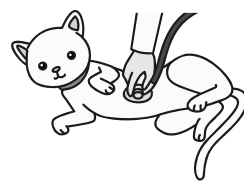
教育講演；「高齢動物の食事管理」
Dr. Dana Hutchinson (マーク・モーリス研究所)

第191回 (H24. 7. 4 開催)

教育講演；「貧血：診断的アプローチと対処法」
井手香織先生 (東京農工大学 獣医内科学研究室)
コーディネーター：丸山治彦先生
(獣医臨床病理学研究室)

第192回 (H24. 9. 24開催)

教育講演；「緑内障 診断と治療のウソ・ホント」
滝山直昭先生 (獣医内科学研究室)



獣 医 学 科 の 近 況

【獣医師国家試験】

第63回獣医師国家試験が平成24年2月21日、22日にTOC有明4階EASTホール、WESTホールにて行われました。日本大学獣医学科から137名が受験し、117名が合格しました。合格率は85.4% (全国平均91.0%) でした。

【表彰、受賞】

平成23年度の卒業生のうち優等賞が渡邊ひとみさん、学部長賞が加藤千草さん、浦野孝太郎さん、日本獣医師会会長賞が上間育美さん、角笛会長賞を有本真理子さん、吉田麻央さんにそれぞれ授与されました。

【博士（獣医学）の学位取得者】

課程博士：江尻寛子氏、宮坂 卓氏、岡田みどり氏、片倉文彦氏、西田 幹氏、藤原めぐみ氏、大野真美子氏、石川 愛氏

論文博士：大場茂夫氏、幅田 功氏

【退 職】

月瀬 東教授 (獣医解剖学) がご退職されました。

【人事・昇格】

大場茂夫専任講師 (総合臨床獣医学)、松本 淳専任講師 (医動物学) が准教授に昇進されました。都築亜美実習助手 (日本大学付属動物病院) が獣医学科事務室に異動されました。

【新 任】

大野真美子助手 (獣医臨床繁殖学研究室)、矢部由希乃実習助手 (家畜病院) の2名の先生方が着任されました。

■新任の先生の自己紹介

(獣医臨床繁殖学)
大野真美子助手

平成24年4月1日より本学獣医臨床繁殖学研究室に助手として着任致しました大野真美子と申します。

私は、平成20年に本学獣医学科を卒業致しました。在学中より獣医臨床繁殖学研究室に所属しており、分娩後の乳牛の繁殖機能低下のメカニズムについて、内分泌ホルモンであるLHの動態に着目して研究を行ってきました。その後、本学大学院獣医学研究科に入学し、大学院では学部から行ってきた研究内容を発展させ、乳牛において分娩後に生じる肝機能低下と繁殖機能との関係について取り組んできました。研究では、乳牛の肝臓のバイオプシーを行い、肝臓中のステロイド代謝酵素活性や卵胞発育に関係する栄養調節因子のIGF-1の遺伝子発現などの測定を行ってきました。平成24年3月に博士 (獣医学) を取得し、本学に着任致しました。

当研究室には、学部と大学院でも所属しており、所属してから今年で8年目となります。学生から教員へと立場が変わりましたが、日々研究や学生教育に奮闘しております。本学は関東圏内にあるため、学生が産業動物に触れ

る機会が少ないとは思いますが、授業や実習を通して産業動物獣医学の面白さや醍醐味を伝えていきたいと考えております。少しでも日本大学の発展に貢献できるよう努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

■平成24年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
本校試験（第1期）	35名	1,148（522）	100（50）	11.5
本校試験（第2期）	15名	584（263）	47（24）	12.4
センター試験利用	10名	583（283）	32（13）	18.2
一般推薦（公募制）	学部全体で70名	42（30）	15（12）	2.8
一般推薦（公募制・関連産業後継者）	学部全体で22名	19（8）	9（4）	2.1
校友子女推薦（公募制）	学部全体で23名	10（3）	8（3）	1.3

（ ）内は女子

■学年担任（平成24年度）

- 1 年次：浅野隆司教授（獣医薬理学）、鯉江 洋准教授（獣医生理学）、西村知良専任講師（一般教養）
2 年次：遠矢幸伸教授（獣医微生物学）、松本 淳准教授（医動物学）
3 年次：中山智宏教授（獣医放射線学）、加納 壘准教授（獣医臨床病理学）
4 年次：上地正実教授（獣医内科学）、坂井 学専任講師（獣医内科学）
5 年次：鎌田 寛教授（獣医臨床病理学）、枝村一弥専任講師（獣医外科学）
6 年次：中西照幸教授（魚病学）、浅野和之准教授（獣医外科学）

◆◆◆◆◆

訃 報

◆◆◆◆◆

佐久間勇次先生がご逝去



佐久間勇次名誉教授は、大正13年1月16日埼玉県川越市に生まれ、昭和21年9月九州帝国大学農学部畜産学科を卒業後、東北大学助手を経て、昭和36年10月に本学の助教授として着任、昭和42年4月教授に昇格し、平成6年1月に定年により退職されるまで、32年の長きにわたり教学・研究面のみならず農獣医学部（現 生物資源科学部）の発展、充実に多大の貢献をしてきた。特に、昭和63年3月から平成2年3月まで本学農獣医学部の就職指導担当として学部の施策等の企画・立案に関与する要職を歴任し、本学の発展に多大な貢献を果たしている。また、その功績により、平成15年4月、日本大学名誉教授の称号を授与、平成16年4月29日には瑞宝中綬章を受章されたが、平成24年5月7日、肺炎により逝去された。正五位に叙される。

佐久間勇次先生のご冥福を心よりお祈りいたします。 (文責 金山 喜一)



トピックス

第11回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催

事務局長 渋谷 久（昭和62年卒）



9月29日（土）日本大学会館大講堂にて日本大学薬学部校友会の当番幹事のもと、第11回の講演会が開催されました。日本大学医療系同窓・校友会（医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会）では5学部または学科が順番で主幹となり、毎年学術講演会を開催しております。昨年度は角笛会が担当で10回を記念して10周年記念CD集を刊行しました。本年度は11回目として新規にシンポジウム形式で、－「がんの領域」医療領域における最近の話題－をテーマに講演会が開催されました。角笛会からは獣医外科学研究室の浅野和之先生が「動物の癌治療の実際とプレクリニカルリサーチの可能性について」と題して講演されました。受講費は校友・一般は1,000円、学生は無料です。公開講座なので校友はもちろん一般の方も入場できます。来年度は日本大学医学部同窓会が担当校になります。多数のご参加をお待ちしております。

開会の辞

内倉和雄（当番学部・日本大学薬学部校友会会長）

来賓挨拶

大塚吉兵衛（日本大学総長）

第1講演 日本大学医学部同窓会

演者：古阪 徹（日本大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学系・准教授）
座長：平山晃康（日本大学松戸歯学部脳神経外科主任教授医学部同窓会渉外担当理事）
頭頸部癌の特殊性と最新の治療

第2講演 日本大学歯学部同窓会

演者：小宮山一雄（日本大学歯学部病理学教室・教授）
座長：藤川謙次（日本大学歯学部同窓会・学術委員会委員長）
口腔癌早期発見に向けて日大型病診連携の取り組み

第3講演 日本大学松戸歯学部同窓会

演者：福本雅彦（日本大学松戸歯学部歯科臨床検査医学・教授）
座長：村松 守（日本大学松戸歯学部同窓会副会長・学術担当）
口腔がん

第4講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会・角笛会

演者：浅野和之（日本大学生物資源科学部獣医学科獣医外科学研究室・准教授）
座長：渋谷 久（日本大学生物資源科学部獣医学科獣医病理学研究室・准教授）
動物の癌治療の実際と
プレクリニカルリサーチの可能性について

第5講演 日本大学薬学部校友会

演者：西野潤一（ノバルティスファーマ株式会社開発本部薬事部グループマネージャー）
座長：日高慎二（日本大学薬学部医薬品評価科学研究室・教授）
日本における新薬開発・審査の状況
～抗悪性腫瘍領域の特徴とは～

総合討論

閉会の辞

岡野匡雄（次回当番学部・日本大学医学部同窓会会長）

懇親会

司会・進行：岸田邦雄（日本大学薬学部校友会副会長）

実験生物慰霊碑の移設

東京校舎跡地の日本大学新学部開設にともない、実験生物慰霊碑が藤沢キャンパスの農場に移設されました。11月2日、家畜及び実験動物供養祭に先立ち入魂式が執り行われました。下馬の東京校舎で学ばれた卒業生には馴染みの深い慰霊碑で、藤沢キャンパスの家畜慰霊碑のわきに新しい台座とともに移設されました。

石碑の表は「実験生物慰霊碑 日本大学総長 呉文炳書」、裏には「昭和28年度建之日本大学農獣医学部 學友会」と書かれており、当時の学部在生で構成する學友会が中心となり建立したと思われます。



角笛会関連記事(支部だより)

■北海道支部だより

平成23年度日本獣医師会年次大会の第一日目の平成24年2月3日(金)に札幌第一ホテルにて、日本大学交流会が開催されました。学会中ということもあり、大学から酒井健夫前総長をはじめ、6人の先生、遠くは九州からも学友が集まり50名となりました。

獣医科大学6大学が同ホテルで同時刻に交流会を開催することになっていましたので、学会会場でも各大学が盛んに参加者を勧誘していました。そこで偶然、昨年退官された田中茂夫男先生にお会いし、お願いしたところ快く参加してくださいました。

久しぶりに再会した先生、先輩、友人と盛り上がり、最後に皆で校歌を歌い、写真撮影してお開きとなりました。また来年の学会の時に再会できればと思います。参加していただいた皆様ありがとうございました。

文責：北海道支部事務局 中澤 茂樹(昭和60年卒)

■獣医学科昭和50年卒業同窓会を開催

平成24年10月7日、箱根湯本の天成園にて卒業後37年目の同窓会が開催されました。今年は台風が多く、天候を心配しておりましたが、当日は爽やかな秋晴れに恵まれました。同級生の皆さんは、箱根山を観光したり、早めに旅館に入り温泉を楽しんだり、それぞれの秋を楽しく過ごされたようです。午後6時からの開宴で、まずは病理学研究室の佐藤教授に大学の近況を伺い、遠く九州から参加された秋山君、新原さんに乾杯の音頭をとって頂きました。さすがに歳をとって、名前と顔が一致しないとの声が上がリ、全員に名簿を配った後、マイクを廻して一人ずつスピーチという事になりました。担任の武石先生がご逝去されてからは、卒業生だけの集いとなりましたが、今回は女性9名、男性31名、計40名の参加となり、大変賑やかで終始笑顔の絶えない宴会となりました。二次会も殆どの方が参加されました。カラオケを楽しみながらの懐かしい友との語らいに、あっという間に時間が過ぎていきました。「同級生じゃないと〇〇君!〇〇さん!って呼べないでしょ…いつも気を使って話しているから、今日は楽しい!」と声を上げた女性もいました。皆の笑顔が少しだけ若返った様に思えた瞬間でした。世間の荒波を乗り越えて迎えた還暦の年の同窓会だからこそ、とても有意義なものになったと思います。今回ご協力頂いた皆様に感謝し此処にご報告いたします。



世話人 堀越英一郎

学会関連記事

第51回日本大学獣医学会開催案内

日時：平成25年7月頃

場所：未定

問合せ：事務局

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部

獣医外科学研究室(枝村 一弥)

TEL.0466-84-3373

E-mail: edamura@brs.nihon-u.ac.jp

<mailto:edamura@brs.nihon-u.ac.jp>

※角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。



ホームページアドレス

http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

◇求人のお願ひ◇

女子学生の増加に伴い、小動物臨床の勤務獣医師を希望する者が増えております。会員からの求人申し込みは学生就職指導課ならびに就職指導委員(浅野和之准教授、渋谷 久准教授)までご連絡下さい。

編集後記

角笛会報にご意見、ご希望等がございましたら獣医外科学研究室の手島(teshima.kenji@nihon-u.ac.jp)あるいは角笛会事務局(tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp)までご連絡下さい。(平成24年11月 手島健次 平成15年卒)